

會式以外ノ集會ニハ學校使用ヲ許サ、ル關係上ノ爭議批判
演說會ヲ開催セルカ聽衆約六〇〇名并士加藤勘十白鳥實近
淺沼稻次郎外九名午後十時五十分無事閉會セルカ今後令組
合ハ本爭議ヲ積極的ニ應援スルコトヲ申合セタリ

五今後ノ推移

前述ノ如ク爭議團ハ勞農黨系ト大衆黨系ノ兩者ヨリ指導サレ
表面共同才率ヲ標榜シ居ルニ裏面ニ於テハ從業員ヲ基礎トシ
テノ爭議解決ヨリ又互ニ黨勢ノ擴張ニ努メ居ル傾アルヲ以テ
將來爭議團ハ分裂スルモノト見ラレ加フルニ會社側ハ比較的
無理解ナルヲ以テ將來本爭議ハ複雜悪化スルモノト認メラル
ルヲ以テ任意警戒ニ居レリ

右及申(通)報復也

「別表」

要求書

- 一 解雇絶対及対
- 一 歩合ヲ奉給ニ改ムルコト
- 一 強制休業禁止
- 一 工場設備ノ完備
- 一 食堂ノ設備
- 一 衛生設備ノ改善
- 一 故佐藤信(元)遺族扶助料五十円支給
- 一 傷者年考多初定スルコト
- 一 最低賃金多制定スルコト
- 一 解雇退職手當ノ増額
- 一 臨時工ハ本工ニスルコト
- 一 昇給制度ノ制定
- 一 入社及退社時間ノ改正
- 一 爭議中自給金額支給スルコト
- 一 爭議ニヨル犧牲者ヲ絶対ニ出サ、ルコト
- 一 爭議費用會社負担ノコト

以上

昭和五年八月五日

從業員一同

株式會社大島製鋼所

社長 大川平三郎殿